

## ユジノサハリンスクのクニージヌイ・マガジン (Книжный магазин [knizhnyy magazin]) <書店> めぐりで感じたこと

北海道エスペラント連盟 横山裕之

本が売っている店には、クニーガ (Книга [kniga]) <本>の派生語が看板にありました。

看板の話をすれば、ユジノサハリンスクには、アプチェーカ (Аптека [apteka]) <薬局>という看板がたくさんありました。日本より薬局の数が多い感じがします。エスペラントで、薬局は *apoteko* とも言い、単語が似ているので親しみを感しました。ロシア帝国に住んでいたザメンホフが作ったエスペラントとのつながりを感じます。

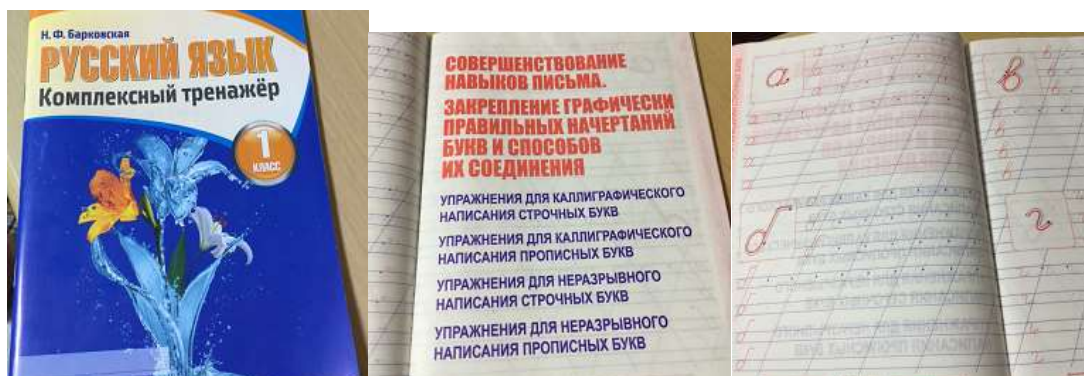
ユジノサハリンスクの街を歩いて私が行った書店は、サハリンスカヤ通りにある1店舗とユジノサハリンスク駅から歩いていったレーニン通りにある3店舗です。

サハリンにロシア語で書かれたニブフ語の教科書があると聞いたので、本屋にあれば買おうと思い行ったのですが、大きな本屋は見当たらず、行った本屋には置いてませんでした。iPhoneのメモに、「Я покупаю (Ya rokuayu <私は買う>)、Учебник нивхи язык по-русски (Uchebnik nivkhi yazuk po-russki <ロシア語で書かれたニブフ語の教科書>)」と打ち込んで、店員さんに見せましたが、ニエット (いいえ) と言われました。ついでに、エスペラントの本はどうかと思い、「Учебник эсперанто язык по-русски (Uchebnik esperanto yazuk po-russki <ロシア語で書かれたエスペラント語の教科書>)」も見せましたが、予想通り、この答えもニエットです。行った本屋は、北海道の小さな町にあるような本屋でした。小さい書店は文房具も売ってます。

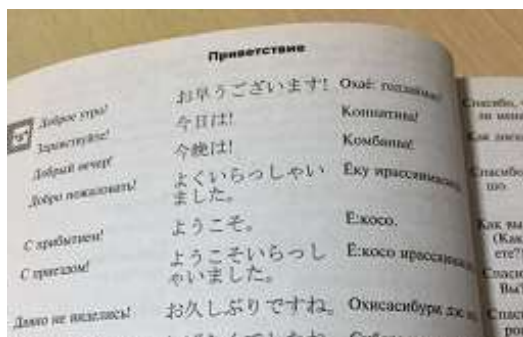
おみやげにサハリンの地図が付いたマグネットを買いました。

また、初等学校向けのキリル文字の筆記体の練習帳があったので、それも買いました。

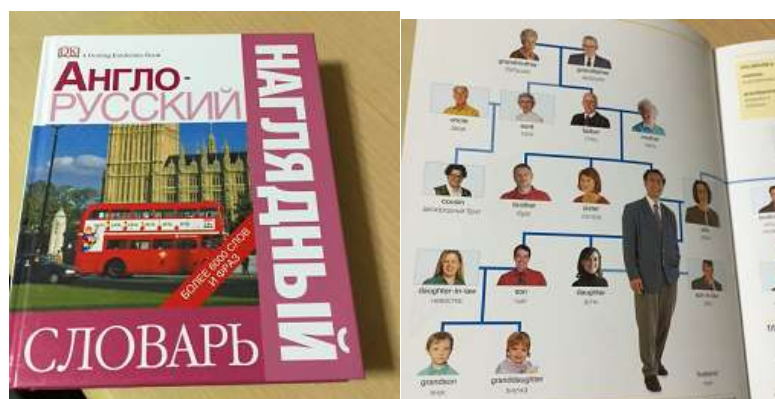
1 КЛАСС (klass) と書いていたので、1年生向けだと思います。



他の店舗では、少し本が多めだった店で、簡単な露日単語帳を買いました。日本語の読みがキリル文字で書いてあるのが面白いと思いました。



絵が入っている英露辞典も買いました。絵が入っているとわかりやすいですね。



絵入りの辞書みたいな高そうなものは日本とそんなに値段が変わらないですが、筆記体の練習帳とか簡単な露日単語帳みたいな安そうなものは日本より若干安い感じがしました。食べ物については黒パンみたいな現地の人に必須のものは安く、若干高そうなものは日本とそんなに変わらないという印象を持ちました。どちらについても、ぜいたく品は安くはないということだと思います。